

(3)「青森県の希少な野生生物 - 青森県レッドデ - タブック - 」との変更点一覧

総括表

変更内容		対象種数
新規追加		270種
カテゴリ変更	ランク上昇	63種
	ランク下降	11種
	合計	74種
和名・学名変更		4種
削除		6種

植物

維管束植物

種名	変更内容	県レッドリスト (2006)	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
ハナヒョウタンボク	カテゴリ - 変更	E X	A	新情報に基づく再検討	
キジノオシダ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
コガネシギシ	カテゴリ - 変更	A	E X	新情報に基づく再検討 (RDB普及版 2001)	
タカネグンバイ	新規追加	A	-	個体数極少、分布局限	
エゾキケマン	カテゴリ - 変更	A	D	分布局限、生育環境脆弱	
ミヤマダイコンソウ	新規追加	A	-	分布限定、高採取圧、 生育環境悪化	
ホザキシモツケ	新規追加	A	-	分布局限、生育環境悪化	
ホロムイイチゴ	カテゴリ - 変更	A	B	生育環境悪化、分布局限	
エゾシモツケ	カテゴリ - 変更	A	D	個体数希少、分布局限	
マツバニンジン	新規追加	A	-	分布限定、個体数減少	
ケゴンアカバナ	新規追加	A	-	個体数極少、分布局限	
アシボソアカバナ	カテゴリ - 変更	A	B	個体数希少、個体数激減	
ヒメアカバナ	カテゴリ - 変更	A	C	個体数希少、分布限定	
ムラサキセンブリ	カテゴリ - 変更	A	E X	新情報に基づく再検討 (RDB普及版 2001)	
エゾハナシノブ	カテゴリ - 変更	A	B	個体数極少、分布局限	
コカモメズル	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
バアソブ	新規追加	A	-	個体数希少、個体数激減	

モイワシャジン	加ゴリ - 変更	A	D	個体数希少、分布限定、 高採取圧	
イヌニガクサ	和名・学名変更	A	A	イノニガクサから名称変更	
ヒナノウスツボ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
クワガタソウ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
ミミカキグサ	新規追加	A	-	生育環境悪化、分布局限	
ベニバナヒョウタンボク	加ゴリ - 変更	A	B	個体数希少、分布局限	
ケヨノミ	新規追加	A	-	個体数希少、分布局限	
ヒメガンクビソウ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
ムカシヨモギ	新規追加	A	-	個体数希少、 エゾムカシヨモギの変種	
トナカイアザミ	新規追加	A	-	個体数希少、分布局限	
ナガバキタアザミ	新規追加	A	-	個体数極少	
アキノハハコグサ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
ヒンジモ	加ゴリ - 変更	A	E X	新情報に基づく再検討 ( R D B 普及版 2001 )	
トチカガミ	新規追加	A	-	個体数減少、生育環境悪化	
加ミノコジマエリイワ	和名・学名変更	A	A	コジマエリイワから名称変更	
ウラゲキヌガサ	新規追加	A	-	分布北限、キヌガサソウの 変種	
シロウマアサツキ	加ゴリ - 変更	A	D	個体数希少、分布限定	
オオトボシガラ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定、 個体数減少	
ウシオスゲ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
マシケスゲモドキ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
クジュウツリスゲ	加ゴリ - 変更	A	D	新情報に基づく再検討	
イッポンスゲ (シロハリスゲ)	加ゴリ - 変更	A	D	個体数減少、分布局限、	
オクタマツリスゲ	加ゴリ - 変更	A	D	個体数希少、分布局限	
チシママツパイ	加ゴリ - 変更	A	D	個体数減少	
ベニシュスラン	新規追加	A	-	個体数極少、分布限定	
ヒメミズトンボ	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
モイワラン	新規追加	A	-	個体数希少、分布限定	
リシリシノブ	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	
イチョウシダ	新規追加	B	-	個体数減少、分布限定、 生育環境悪化	

ネズミサシ	新規追加	B	-	分布限定	
コキツネノボタン	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	
アズマレイジンソウ	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	
イイギリ	カテゴリ - 変更	B	C	生育環境悪化	
ナンブソウ	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	
ホザキナナカマド	カテゴリ - 変更	B	C	分布限定	
フジカンゾウ	カテゴリ - 変更	B	D	新情報に基づく再検討	
タチフウロ	カテゴリ - 変更	B	C	個体数減少、分布限定	
クロツリバナ	カテゴリ - 変更	B	D	個体数希少、分布限定	
ハナビゼリ	カテゴリ - 変更	B	D	分布限定、生育環境悪化	
ホソバアカバナ	新規追加	B	-	個体数希少	
ユキワリソウ	カテゴリ - 変更	B	C	個体数減少、高採取圧	
ユキワリコザクラ	カテゴリ - 変更	B	C	高採取圧	
デワノタツナミソウ	カテゴリ - 変更	B	D	個体数希少、分布限定	
ミヤマウツボグサ	カテゴリ - 変更	B	D	個体数希少、分布限定	
ツルカノコソウ	新規追加	B	-	個体数希少、生育環境悪化	
キクモ	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	
エチゴトラノオ	カテゴリ - 変更	B	C	生育環境悪化	
クモマニガナ	新規追加	B	-	生育環境悪化	
フタバムグラ	カテゴリ - 変更	B	D	新情報に基づく再検討	
イトイバラモ	カテゴリ - 変更	B	D	新情報に基づく再検討	
コアマモ	新規追加	B	-	分布限定、生育環境悪化	
エゾホシクサ	カテゴリ - 変更	B	D	個体数希少、分布限定、 個体数減少	
ネムロホシクサ	カテゴリ - 変更	B	D	個体数希少、分布限定、 個体数減少	
ホソバノアマナ	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	
ネムロスゲ	カテゴリ - 変更	B	C	個体数希少、分布限定、 個体数減少	
サワラン	新規追加	B	-	個体数希少	
イワヒバ	新規追加	C	-	分布限定、高採取圧	
コウライイヌワラビ	新規追加	C	-	個体数減少	
オオユリワサビ	新規追加	C	-	新情報に基づく再検討	
ハクサンハタザオ	カテゴリ - 変更	C	D	新情報に基づく再検討	
ハコダテキリンソウ	カテゴリ - 変更	C	D	新情報に基づく再検討	
ツルキジムシロ	新規追加	C	-	個体数希少、分布局限	

コガネイチゴ	新規追加	C	-	個体数希少、分布限定	
チシマフウロ	カテゴリ - 変更	C	D	新情報に基づく再検討	
コモチレンゲ	新規追加	C	-	個体数希少	
タチガシワ	新規追加	C	-	個体数減少	
オオマルバノホロシ	新規追加	C	-	生育環境悪化	
ミチノクホタルイ	カテゴリ - 変更	C	D	生育環境悪化	
コオニタピラコ	新規追加	D	-	個体数減少	
タカサブロウ	新規追加	D	-	個体数希少	
マルミスブタ	カテゴリ - 変更	D	B	新情報に基づく再検討	
コワニグチソウ	削除	-	D	雑種	

維管束植物以外の植物

・ 蘚苔類（新規対象分野）

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	選定理由	参考文献
オオミズゴケ	-	B	-	個体数減少、生育環境悪化	
コシノヤバネゴケ	-	B	-	分布限定、生育環境悪化、 日本固有種	
クロカワゴケ	-	B	-	分布限定、生育環境悪化	
カワゴケ	-	B	-	個体数減少、生育環境悪化	、
トガリカイガラゴケ	-	B	-	希少種、北限、生育環境悪化	
ウキゴケ	-	B	-	生育環境悪化、個体数減少	、
イチョウウキゴケ	-	B	-	生育環境悪化、個体数減少	
アオゴケ	-	C	-	分布限定、個体数減少	
マユハケゴケ	-	C	-	希少種、北限、生育環境悪化	
ヒロスジツリバリゴケ	-	C	-	希少種、北限、分布限定	
シロシラガゴケ	-	C	-	生育環境悪化、個体数減少	
カサゴケ	-	C	-	希少種、個体数減少	22
オオヒモゴケ	-	C	-	生育環境悪化、個体数減少	、
モミシノブゴケ	-	C	-	希少種、分布限定	、
ナガスジハリゴケ	-	C	-	生育環境悪化、分布限定	
ササバゴケ	-	C	-	生育環境悪化、個体数減少	
ヤリノホゴケ	-	C	-	生育環境悪化、個体数減少	
ササオカゴケ (アオリガハゴケ)	-	C	-	個体数減少、生育環境悪化、 分布北限	

ミヤマミズゼニゴケ	-	C	-	個体数減少、生育環境悪化、 分布北限	
シマオバナゴケ	-	D	-	分布北限、分布限定、 日本固有種	、
マッカリタケナガゴケ	-	D	-	希少種、分布限定	
オソレヤマヤバネゴケ	-	D	-	生育環境悪化	21
ケスジヤバネゴケ	-	D	-	希少種、分布限定、分布北限	
ハッコウダゴケ	-	D	-	希少種、分布限定、分布北限	

・淡水藻類（新規対象分野）

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	選定理由	参考文献
マリモ (ヒメマユ、ヅマユを含む)	-	A	-	分布限定、生育環境悪化	、 、 、
ケナガシャジクモ	-	D	-	分布北限、生育環境悪化	、
シャジクモ	-	D	-	生育環境悪化	、
カタシャジクモ	-	D	-	生育環境悪化	、
ハダシシャジクモ	-	D	-	分布北限、生育環境悪化	、
ヒメフラスコモ	-	D	-	生育環境悪化	、
ヒメカワモズク	-	D	-	個体数減少、生育環境悪化	、
カワモズク	-	D	-	個体数減少、生育環境悪化	、 、 、
アオカワモズク	-	D	-	個体数減少、生育環境悪化	、
ユタカカワモズク	-	D	-	生育環境悪化	
ウイトロキイラ 紗井	-	L P (小川原湖)	-	分布限定、生態特異	、

・地衣類（新規対象分野）

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	選定理由	参考文献
オオウラヒダイワタケ	-	A	-	分布限定、個体数減少	、
シワイワタケ	-	B	-	分布限定、個体数減少	、
イワタケ	-	B	-	生育環境悪化、個体数減少	
オオイワブスマ	-	B	-	分布限定、個体数減少	、
バンダイキノリ	-	C	-	生育環境悪化	
ミヤマクグラ	-	D	-	分布限定、個体数減少	、
ニセカラタチゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、

ツツシカヲ好ゴケトキ	-	D	-	生育環境悪化	、
ウチキウメノキゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
シナノウメノキゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
フォ-リザクログケ	-	D	-	生育環境悪化	、
チャザクログケ	-	D	-	生育環境悪化	、
クロイボゴケモドキ	-	D	-	生育環境悪化	、
ヒメジョウゴゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
オオサビイボゴケ	-	D	-	分布限定、日本固有種	、
ニセチャハシゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
キゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
ヤマトキゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
ムクムクキゴケモドキ	-	D	-	生育環境悪化	、
アイロカプトゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
コウヤクゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
チヂレウラムイゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
ヘリトリツメゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
アカツメゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
モズクゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
カワホリゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
ヤマトカワホリゴケ	-	D	-	生育環境悪化	、
アオキノリ	-	D	-	生育環境悪化	、
ヤスデゴケモドキ	-	D	-	生育環境悪化	、

・菌類（新規対象分野）

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	選定理由	参考文献
ヤチヒロヒダタケ	-	A	-	分布限定、生育環境悪化	、
コカバノタケ(ヒカバノタケ)	-	A	-	個体数希少、分布限定	
コササクレシロオニタケ	-	B	-	個体数希少、生育環境悪化	
ヤマドリタケ	-	B	-	分布限定、個体数希少	
ドクヤマドリタケ	-	B	-	個体数希少、分布限定	
バカマツタケ	-	B	-	個体数減少	
フサハリタケ	-	B	-	個体数希少、分布限定	
チョレイマイタケ	-	B	-	分布限定、乱獲の恐れ	
シロマイタケ	-	B	-	分布限定、日本特産種	
カバノアナタケ	-	B	-	個体数希少、乱獲の恐れ	

カシノササキ	-	B	-	個体数希少、分布限定	
キツネノサカズキ	-	B	-	個体数希少、生育環境悪化	
トガリフカアミガサタケ	-	B	-	個体数希少	
ツバヒラタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ダイダイヌメリガサ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ウスムラサキガサ	-	C	-	分布限定	
シロタモギタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ツノシメジ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
オドタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ホシアンズタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
フサクギタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ヒメヌメリイグチ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
アイゾメイグチ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
アミハナイグチ	-	C	-	分布限定	
ムラサキヤマドリタケ	-	C	-	個体数減少、生育環境悪化	
アシナガイグチ	-	C	-	個体数希少、分布限定、 日本特産種	
アカハツモドキ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ニカワウロコタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
タマチョレイタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ツヤナシマンネンタケ	-	C	-	個体数希少	、
カンバタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ニンギョウウタケ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ホンショウロ	-	C	-	個体数希少、分布限定	
ムカシオオミダレタケ	-	C	-	個体数減少、分布限定	、
ツバキカサタケ	-	C	-	分布北限	
クチキトサカタケ	-	C	-	個体数希少、日本特産種	、
オオミノミミブサタケ	-	C	-	個体数希少	
オオズキンカブリ	-	C	-	個体数減少、分布限定	
シロキツネノサカズキ	-	C	-	個体数希少	
カエントケ	-	C	-	個体数希少	
ナナイロヌメリタケ	-	D	-	分布限定	
アケボノタケ	-	D	-	個体数希少	
ホンシメジ	-	D	-	生育環境悪化	
ヤチナラタケ	-	D	-	生育環境悪化	
ヒメムキタケ	-	D	-	分布限定	

ニセシジミタケ	-	D	-	分布限定	
ミヤマシメジ	-	D	-	分布限定	
オオモミタケ	-	D	-	個体数希少	
クロキツネタケ	-	D	-	分布限定	
ヒメムラサキシメジ	-	D	-	個体数希少	
オニテングタケ	-	D	-	個体数希少	
キノオオフクロタケ	-	D	-	個体数希少	
シワカラカサモドキ	-	D	-	個体数希少、分布限定	
オオツガタケ	-	D	-	個体数希少	
アカジコウ	-	D	-	生育環境悪化	
アキノキリンコウ	-	D	-	個体数希少	
カワキタケ	-	D	-	個体数希少	
ニオイカワキタケ	-	D	-	個体数希少	
ツチヒラタケ	-	D	-	個体数希少	
コガネノハシラケ	-	D	-	個体数希少	
アカモミタケ	-	D	-	個体数希少、分布限定	
ホウキタケ	-	D	-	生育環境悪化	
エツキヒメサカズキタケ	-	D	-	分布限定	
ヒトクチタケ	-	D	-	個体数希少	
ツガノマンネンタケ	-	D	-	個体数希少	
カンゾウタケ	-	D	-	個体数希少	
トゲホコリタケ	-	D	-	県内生育未確認	
シロキクラゲ	-	D	-	個体数希少	
テンガイカブリ	-	D	-	個体数希少	
イモタケ	-	D	-	個体数希少	

## 脊椎動物

### 哺乳類

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
ニホンアシカ	新規追加	EX	-	新情報に基づく再検討	、
ニホンユビナガコウモリ	カテゴリ - 変更	B	C	個体数減少	、
ホンダザル	新規追加	LP (津軽半島)	-	分布限定、生息環境悪化	~



鳥類

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
ウズラ	カテゴリ - 変更	A	B	個体数減少、個体数希少	
ヒメクイナ	新規追加	A	-	個体数極少、分布限定	
ヒクイナ	カテゴリ - 変更	A	B	個体数極少、分布限定	
シマクイナ	新規追加	A	-	個体数極少、分布限定	
チゴモズ	カテゴリ - 変更	A	B	個体数極少、分布限定	
アカモズ	カテゴリ - 変更	A	B	個体数極少、分布限定	
ツミ	カテゴリ - 変更	B	C	個体数希少	
ケリ	カテゴリ - 変更	B	C	個体数減少、分布限定	
オオコノハズク	カテゴリ - 変更	B	C	個体数減少	
アオバズク	カテゴリ - 変更	B	C	個体数減少	
ハシビロガモ	新規追加	C	-	個体数希少	
コオリガモ	新規追加	C	-	個体数希少	
バン	新規追加	C	-	個体数減少	
タゲリ	カテゴリ - 変更	C	B	新情報に基づく再検討	
ヨタカ	新規追加	C	-	個体数減少	
ジュウイチ	新規追加	C	-	個体数減少	
セッカ	新規追加	D	-	新情報に基づく再検討	
コウノトリ	削除	-	A	不定期渡来、迷鳥	

爬虫類・両生類

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
変更点なし					

汽水・淡水魚類

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
アカオピシマハゼ	新規追加	D	-	生息環境悪化、分布限定	、
ヒモハゼ	新規追加	D	-	生息環境悪化、分布北限	、

無脊椎動物

昆虫類

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
ハグロトンボ	加ゴリ - 変更	B	A	新情報に基づく再検討	
ミヤマサナエ	加ゴリ - 変更	B	A	新情報に基づく再検討	
オオキトンボ	加ゴリ - 変更	B	A	新情報に基づく再検討	
ウスバカマキリ	新規追加	B	-	個体数減少、生息環境悪化	43、53、55、58 61
タイコウチ	新規追加	B	-	個体数減少、生息環境悪化	45、55、58
タワウサガメ	新規追加	B	-	分布限定、生息環境悪化	51、56
キバネツノトンボ	加ゴリ - 変更	B	D	個体数希少、分布限定	55、71
カワラハンミョウ	新規追加	B	-	個体数減少、生息環境悪化	、21、22、69 72、75、76
ヒメミョウ(海浜型)	新規追加	B	-	分布限定、生息環境悪化	73、75、76
ベニモンマダラ	加ゴリ - 変更	B	D	個体数減少、生息環境悪化	
ヒメギフチョウ	加ゴリ - 変更	B	C	個体数減少、生息環境悪化	、~
オオゴマシジミ	加ゴリ - 変更	B	D	個体数減少、生息環境悪化	、
クビグロケンモン	加ゴリ - 変更	B	C	生息環境悪化	28、29
オオカワトンボ	和名・学名変更	C	C	ヒガシカワトンボ から名称変更	
ウチワヤンマ	新規追加	C	-	個体数減少	
ハラビロトンボ	加ゴリ - 変更	C	A	新情報に基づく再検討	
タイリクアカネ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	
コオイムシ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	25、26
モンキカスミカメ	新規追加	C	-	分布限定、生息環境悪化	44、62、67
ヤセオオヒラタカメムシ	新規追加	C	-	分布限定、生息環境悪化	
ヒメミズギワカメムシ	新規追加	C	-	分布限定	47、93
キタヒメアメンボ	新規追加	C	-	分布限定	64、65、66
イサナガハカメムシ	加ゴリ - 変更	C	D	分布限定	46
ツグミサガメ	新規追加	C	-	生息環境悪化、分布限定	47、52、56
ゴミアシナガサシガメ	新規追加	C	-	個体数希少	45、55、58
ミズムシ	加ゴリ - 変更	C	D	新情報に基づく再検討	
コハンミョウ	新規追加	C	-	個体数希少、生息環境悪化	74、75、76
ホソハンミョウ	加ゴリ - 変更	C	D	個体数希少、分布限定	69、73、75、76 77
ハンミョウ	加ゴリ - 変更	C	D	個体数減少、分布限定	73、75、76

オヤマシギキワミシ	カテゴリ - 変更	C	D	生息環境悪化	31、32
マルガタゲンゴウ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	、70
ゲンゴロウ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	、55、80、84 89、93
オオシマゲンゴロウ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	
エゾゲンゴロウモドキ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数減少、生息環境悪化	78～81、89
ゲンゴロウモドキ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	78、80
ヒメゲンゴウの北日本亜種 (別名アサゲンゴウ)	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	81、82、89
カハツカゲゲンゴウ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	83
ナガケシゲンゴウ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	83、85
ダイコクコガネ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	23、24
エゾコガムシ	新規追加	C	-	生息環境悪化、分布限定	90、91
ゲンジボタル	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	、
オオルリハムシ	新規追加	C	-	生息環境悪化	、94、95
ヒカゲチョウ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数希少、分布限定	36、
テングチョウ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数減少、生息環境悪化	、、37
ホシミスジ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数減少、生息環境悪化	
アオバセセリ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数希少、分布限定	、
ミヤマチャバネセセリ	新規追加	C	-	個体数希少	、
スジボソヤマキチョウ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	、
ゴマシジミ	カテゴリ - 変更	C	L P (竜飛崎)	個体数減少、生息環境悪化、 地域個体群(竜飛)も重要	、、 、93
キタアカシジミ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	
ミヤマカラスシジミ	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	、
フチグロトゲダシヤク	新規追加	C	-	個体数減少、生息環境悪化	35
ミスジキリガ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数希少、生息環境悪化	
ガマヨトウ	カテゴリ - 変更	C	D	個体数希少、生息環境悪化	33
オオチャバネヨトウ	新規追加	C	-	個体数希少、生息環境悪化	33
チョウトンボ	カテゴリ - 変更	D	A	新情報に基づく再検討	
エゾエンマコオロギ	新規追加	D	-	個体数希少、生息環境悪化	
カヤコオロギ	新規追加	D	-	個体数希少、生息環境悪化	43、58、63
ショウヨウハツタドキ	新規追加	D	-	個体数希少、生息環境悪化	48、55、58
カワラバッタ	新規追加	D	-	個体数減少、生息環境悪化	55、63
セグロバッタ	新規追加	D	-	個体数希少、分布限定	55、63
トゲヒシバッタ	新規追加	D	-	個体数希少、生息環境悪化	58、54

ニトベツノゼミ	新規追加	D	-	個体数希少、分布限定	
ハマベナガカメムシ	新規追加	D	-	個体数希少	44
シロヘリツチカメムシ	新規追加	D	-	個体数希少	45
ウスバセンブリ	新規追加	D	-	個体数希少	41、42、71
オホヨウコノミシ	新規追加	D	-	生息環境悪化	27
クマガイウチノミシ	新規追加	D	-	分布限定、生息環境悪化	92
シマゲンゴロウ	新規追加	D	-	個体数減少、生息環境悪化	86、87
ヒゲブトツブゲノコウ (別名ヒメツブゲノコウ)	新規追加	D	-	個体数減少、生息環境悪化	82、88
クワジカメノコムシ	新規追加	D	-	分布限定、個体数希少	59、68
ヤマトツボウカノハチ	和名変更	D	D	ヤマトツボウカノハチから名称変更	
トガシオオキナハチ	新規追加	D	-	分布限定、個体数希少	
オオチャバネセセリ	新規追加	D	-	個体数減少	、
ズグロハハセセリ	新規追加	D	-	個体数減少、生息環境悪化	、
ヒョウモンチョウ	新規追加	D	-	個体数減少、生息環境悪化	、93
ウラギンスジヒョウモン	新規追加	D	-	個体数減少、生息環境悪化	、
カバシヤク	新規追加	D	-	個体数希少、分布限定	38
コウチスズメ	新規追加	D	-	個体数希少、要調査	
ハマセダカモクメ	カテゴリ - 変更	D	C	確認数少、要調査	
ホソバウスキヨトウ	カテゴリ - 変更	D	C	個体数希少、要調査	
シロオビヨトウ	新規追加	D	-	個体数希少、生息環境悪化	
フシキキシタバ	新規追加	D	-	確認数少、要調査	
ヒメミスジエダシヤク	削除	-	D	分類上の新知見により	30
ゲツボノハナ	削除	-	C	分類上の新知見により	、
キボシトックリパチ	削除	-	A	新情報により同定錯誤	
マエノハナガウカ	削除	-	D	新情報により同定錯誤	39、49、50

#### 昆虫類以外の無脊椎動物

種名	変更内容	県レッドリスト 改訂増補版	県RDB (2000)	変更理由	参考文献
ツガルザリガニミミズ	新規追加	A	-	個体数希少、分布局限	、
タカホコシラトリ	新規追加	A	-	個体数希少、分布局限	
ミズグモ	カテゴリ - 変更	B	D	個体数減少、生息環境悪化	
イソコモリグモ	新規追加	B	-	分布限定、生息環境悪化	
アオモリザリガニミミズ	新規追加	B	-	個体数希少、分布限定	、

クビキレガイモドキ	新規追加	B	-	生息環境脆弱	
オオナガザトウムシ	新規追加	D	-	個体数希少	
フタコブザトウムシ	新規追加	D	-	個体数希少	
アリアケモドキ	新規追加	D	-	分布限定	
カワネジガイ	新規追加	D	-	分布限定	
ミズコハクガイ	新規追加	D	-	分布限定	
エゾドブシジミ	新規追加	D	-	分布限定、生息環境脆弱	
ナガナタネガイ	新規追加	D	-	個体数希少	
ブドウマイマイ	新規追加	D	-	個体数希少	
ナタネキササナギガイ	新規追加	D	-	個体数希少	
イツマデガイ	新規追加	D	-	個体数希少	
コシダカヒメモノアラガイ	新規追加	D	-	個体数希少	
エゾミズゴマツボ	新規追加	D	-	分布限定	
ニホンミズシタダミ	新規追加	D	-	個体数希少、分布限定	
ヨコハマシイラガイ	新規追加	D	-	分布限定	
エゾマメタニシ	新規追加	D	-	個体数希少、分布限定	
トウホクスベザトウムシ	新規追加	L P (浅虫 型・十和田型)	-	個体数希少、分布限定	
ヤマトオサガニ	新規追加	L P (平内町)	-	"	,

(4) 参考文献一覧

○維管束植物

	文 献 名
	佐藤石夫 2004. 吾妻川のタカネグンバイの生育環境など. 月刊津軽植物 41 巻 4 号.
	細井幸兵衛 1994. 青森県野生生物目録. みどり造園有限会社植生調査部. 84pp.
	青森県 2001. 青森県の絶滅のおそれのある野生生物 青森県レッドデータブック (普及版).
	環境庁編 2000. 改訂 日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物 (維管束植物). 自然環境研究センタ - .660pp.

○維管束植物以外の植物

・ 蘚苔類

	文 献 名
	岩月善之助・伊沢正名 1986. 野外ハンドブック, 13. しだ・こけ. 山と溪谷社. 271pp.
	岩月善之助・水谷正美 1972. 原色日本蘚苔類図鑑. 保育社. 405pp. 48pls.
	岩月善之助・出口博則・古木達郎 2001. 日本の野生植物コケ. 平凡社. 355pp. 192pls.
	Iwatsuki, Z., 2004. New catalog of the mosses of Japan. Jour. Hattori Bot. Lab. 96: p1 - 182.
	大田正文 2002. 青森県南西部の苔類(1). 青森県立郷土館調査研究年報 26 : p97 - 104.
	柿崎敬一 1977. 青森県産蘚類(2). 青森県立郷土館調査研究年報 3 : p109-112.
	柿崎敬一 1988. 青森県産蘚類目録 (予報). 青森県立郷土館調査研究年報 12. p69 - 96.
	柿崎敬一・太田正文 2001. 下北半島東部のコケ植物. 青森県立郷土館調査研究年報 25: p101 - 114.
	環境庁編 2000. 改訂 日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物 (維管束植物外). 自然環境研 究センタ - .429pp.
	Kanda, H., 1978. A revision of Amblystegiaceae of Japan . Journ. Sci. Hiroshima Univ. ser. B, div. 2, 16(1): p47-119.
	Kitagawa, N., 1966. 日本及び近接地域の Lophoziaaceae の研究 . Journ. Hattori Bot. Lab. 29: p101-149.
	Suzuki, H., 1872. Distribution of Sphagnum species in Japan and an attempt to classify The moors basing on their combination. Jour. Hattori Bot. Lab. 35: p3 - 24.
	Takaki, N., 1962. A revision of Japanese Campylopus. Journ. Hattori Bot. Lab. 25. p263-278.
	Takaki, N., 1967. A revision of Japanese Campylopus. Journ. Hattori Bot. Lab. 30. p231-248.
	高谷泰三郎・斉藤信夫・小林範士・柿崎敬一・大田正文 1996. 植物, 白神山地の自然. 青森県立郷 土館. p14 - 41.
	Deguchi, H., 1981. Mosses of Mts. Hakkoda, northern Japan. Ecological Review 19 (4). p187-235.
	野口 彰 1959. 十和田湖畔の蘚苔類植生. 生態学研究 15. p54 - 64.
	Noguchi, A., 1987. Illustrated moss flora of Japan. Part1. Hattori Bot. Lab. 242pp.

	Noguchi,A.,1991.Illustrated moss flora of Japan.Part4. Hattori Bot.Lab.270pp.
	Noguchi,A.,1994.Illustrated moss flora of Japan.Part5. Hattori Bot.Lab.241pp.
21	福島県 2002.レッドデ - タブックふくしま,福島県の絶滅のおそれのある野生生物.
22	Horikawa,Y.,1955 Distributional studies of Bryophyte in Japan and adjacent regions. Hikobia,Hiroshima.152pp.

・淡水藻類

	文 献 名
	青森県教育委員会 1972.むつ小川原開発地域天然記念物調査報告書.p4-11.
	環境庁 2002.改訂 日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物 (維管束植物以外).p207-257. 自然環境研究センタ - .
	Kasaki,Hedeo.1964.The Charophyta from the lakes of Japan.J.Hattori Bot.Lab.27.p224-255.
	埼玉県 1998.さいたまレッドデータブック 埼玉県希少野生生物調査報告書 植物編.p292-303.
	Sasaki,Yoshio.1964.The species of Cladophora from Japan and its vicinity.Sci.Pap.Inst. Agol.Res.Hokkaido Univ.5.p73-84.
	千葉県 1999.千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 植物編.p307-317.
	福井県 2004.福井県の絶滅のおそれのある野生生物 福井県レッドデータブック(植物編). P178-190.
	広瀬・山岸編著 1977.日本淡水藻図鑑.p165-171.328-331.761-829.内田老鶴圃.
	若菜 勇ほか 2004.青森県小川原湖ならびにオーストラリア南部における <i>Wittrockiella salina</i> の生育状況と生育環境 - 特にマリモ様球状集合の生成条件について(発表要旨)藻類 52(1).p49.
	C.van den Hoek et al.1984. <i>Wittrockiella salina</i> Capman(Cladophorales,Chlorophphyceae), a mat and ball forming alga.Phycologia Vol.23(1).p39-46.

・地衣類

	文 献 名
	環境庁編 2000.改訂 日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物 (維管束植物外).自然環境研 究センタ - .429pp.
	黒川 道 1956.下北半島田名部町・東通村の地衣類.資源科学研究所彙報 40.p110-114.
	Kurokawa,Syo,1957.Lichens of Shimokita Peninsula.資源科学研究所彙報.p43 - 44.12-21.
	佐藤正己 1958.イワタケの分布と生態.植物研究雑誌 33(4).p14-19.
	原田 浩・岡本達哉・吉村 康 2004.日本産地地衣類及び関連菌類のチェックリスト. Lichenology 2(2).p47-165.
	吉村孝造 1986.パンダイキノリは食べられている.ライケン 6(2).p3-4.
	吉村 康,1974.原色日本地衣植物図鑑.保育社.349pp.pls48.

・菌類

	文献名
	今関六也・本郷次雄 1987.原色日本新菌類図鑑 .保育社,325pp.
	今関六也・本郷次雄 1989.原色日本新菌類図鑑 .保育社,315pp.
	環境庁 2000.改訂 日本の絶滅のおそれのある野生生物 植物 (維管束植物以外). 自然環境研究センター -,429pp.
	工藤伸一 2005.八甲田ブナ帯の高等菌類について .甲蕈塾研究報告.30pp.
	工藤伸一・原田幸雄・山中勝次 1999.1998年日本菌学会採集菌類目録.日本菌学会会報 40.p79-83.
	工藤伸一・手塚 豊・米内山宏 1998.青森のきのこ.グラフ青森,288pp.
	長沢栄史・工藤伸一 2003.青森県で発見された <i>Armillaria ectypa</i> について.菌蕈研究所研究報告 41.p26-34.

○哺乳類

	文献名
	東 滋 1966.青森県のニホンザルの分布 2 野猿,25.p22-25.
	森 治 2000.青森県のニホンザル.東北ニホンザルの会のニュー・スレター 5(4).
	大井 徹・森 治・足澤貞成・松岡史朗・揚妻直樹・中村民彦・遠藤純二・岩月広太郎・大槻晃 太・伊沢紘生 1997.東北地方の野生ニホンザルの分布と保全の問題点,ワイルドライフ・フ ォーラム,3.p5-22 .
	自然環境研究センター 1994.ニホンザル調査報告書(平成元年-4年).
	竹下 完 1964.津軽半島の野生ニホンザル.野苑,20/21.p46-49 .
	間山良治 2003.梵珠山でのサルの群れ確認図(平成15年),梵珠山自然ふれあいセンター調査資料.
	環境庁編 2002.改訂 日本の絶滅のおそれのある野生生物 哺乳類.p46-47.自然環境研究センター.
	伊藤徹魯 1996.ニホンアシカは絶滅したか.日本動物大百科第2巻哺乳類 :p94.平凡社.155pp.
	水産庁編 2000.日本の希少な野生水生生物に関するデータブック .p256-257.日本水産資源保護協会
	向山 満 2004.青森県岩崎村ガンガラ岩のコウモリ類.青森自然誌研究(9).p18.青森自然誌研究会
	下山重吉 1970.津軽半島の哺乳動物.津軽半島・岩木山自然公園学術調査報告.p41-47. 日本自然保護協会
	高島春雄 1940.動物・脊椎動物.研究社.東京.237pp.

○鳥類

	文献名
	バ・ドライブアジア 2003.絶滅危惧種 日本の野鳥.東洋館出版社.東京.207pp.
	宮 彰男・三戸貞夫・蛭名純一・関下 斉 2005.仏沼干拓地で繁殖期に観察されたシマクイナにつ いて,日本鳥学会誌 54(2).p104-107.
	對馬昭三 2003.青森県史・自然編・生物・鳥類.p357-358.青森県.



○汽水・淡水魚類

	文 献 名
	塩垣 優・石戸芳男・野村義勝・杉本匡 2004.改訂青森県産魚類目録.青森県水産総合研究センター研究報告,4.p39-80.
	明仁・坂本勝一 1989.シマハゼの再検討.魚類学雑誌,36.p100-112.
	道津喜衛 1955.ヒモハゼの生活史.日本生物地理学会会報,p16 - 19.p338-344.

○昆虫類

	文 献 名
	大場信義 2002.絵とき検索.ホタル科(日本産)(下),昆虫と自然,37(3).p23-28
	Kawashima, I., H. Suzuki and M. Sato, 2003. A check - list of Japanese Fireflies (Coleoptera Lampyridae and Rhagophthalmidae). Jpn. J. syst. Ent., 9(2). p241-261.
	山田雅輝 2000.青森県から初めて記録するハバチ目の10種.青森自然誌研究会(5):p53-54.
	阿部行伸 1969.青森県東南部の蝶類.自刊.213pp.
	一戸清志 1980.青森県および秋田・岩手県北部におけるスジグロチャパネセリ属の分布. Cellastrina, 4. p2-15.
	工藤 忠 2003.日本産蝶類県別レッドデ - タ・リスト(2002年)~青森県.日本産蝶類衰亡と保護,5.p8-10.
	室谷洋司 2004.昆虫調査の概要.「国際芸術センタ - 青森の森」環境調査報告書.p69-71.
	棟方 堯ほか 1986.青森県におけるヒメギフチョウの分布.青森の蝶,9(4).p18-56.
	室谷洋司・阿部 東 1962.青森県の蝶類.青森県の蝶の研究 1.296pp.
	室谷洋司・白山一訓 1986.ブナ林樹種更新による一時的オクエゾサイシン増殖とヒメギフチョウの生態.青森の蝶,9(4).p115-139.
	室谷洋司 1993.日本産蝶類県別レッドデ - タ・リスト(1992年)~青森県.日本産蝶類衰亡と保護,2.p24-26.
	室谷洋司 2001.さまよえる八甲田山のヒメギフチョウ.やぶなべ会報,16.p19-23.
	葛西 充・佐藤 博 1979.青森県の蛾( ).誘蛾燈,75.p6.
	佐藤博・葛西充 1981.青森県の蛾( ).誘蛾燈,84.p85-59.
	佐藤 博 1984.青森県で採集された蛾類珍種,青森の蝶,9(1).p22-24.
	多田内修 2003.日本産ハナバチ類目録 2003.はなばち No5.p1-34.
	Hayashi, F., S. Dobata & R. Futahashi (2004a) Macro-and microscale distribution patterns of two closely related Japanese Mnais species inferred from nuclear ribosomal DNA, its sequences and morphology (Zygoptera: Calopterygidae). Odonatologica, 33(4). p399-412.
	岩井・八木 2003.日本におけるオオルリハムシの地理的分布.昆虫ニューシリーズ,6(2).p105-110.
	森・北山 1993.日本のゲンゴロウ.218pp.文一総合出版.
	佐藤正孝 1985.ハンミョウ科.原色日本甲虫図鑑, .p14.保育社

21	福田 彰 1969.三八地方の甲虫類(1).p4.青森県生物学会青森県支部
22	櫛田俊明 1988.青森県のハンミョウ,Celadtrina,4.p61-112.
23	山内 智 1981.ダイコクコガネの記録.よし,13(2).p17.
24	山内 智 1983.ダイコクコガネの採集記録.よし,14(2).p7.
25	福田 彰ほか 2001.下北丘陵の無脊椎動物.下北丘陵の自然.p73-100.
26	山内 智・三上春文 2002.芦崎地内の昆虫類・蜘蛛類について.芦崎の自然.p63-78.
27	下山健作 1978.青森県の歩行虫科1.昆虫学評論,32(1/2).p135-150.
28	青森県 2000.青森県の希少な野生生物-青森県レッドデータブック-.283pp
29	葛西 充 1987.青森県の蛾( ).誘蛾燈,109.p81-85.
30	葛西 充 1988.青森県の蛾( ).誘蛾燈,147.p338-346.
31	森田誠治 1984.恐山のミズギワゴミムシ.甲虫ニュース,66.p7.
32	森田誠治・山内智 1985.恐山のゴミムシ類.むつ市文化財調査報告書,12.p76-86.
33	佐藤博 1985.青森県の蛾( ).誘蛾燈,101.p117-124.
34	巢瀬 司・枝恵太郎編 2003.日本産蝶類県別レッドデータ・リスト(2002年)、日本産蝶類の衰亡と保護,5.p1-169.
35	鈴樹亨純 2000.フチグロトゲエダシャクの再発見.Celastrina,35.p13.
36	千葉瑞穂ほか 1966.戸来の蝶相.青森県の蝶の研究,4.
37	山内博尚・室谷洋司 1963.田子の蝶類.青森県の蝶の研究,3.
38	横山裕正 2003.青森県におけるカバシャクの採集記録.Celastrina,38.p16.
39	Distant,W.L.1906.Rhynchota.3,Fauna British India.
40	福原梢男 1982.水田に見られる直翅目害虫の見分け方(2).植物防疫,36.p571-577.
41	林 文男 1995.センブリの分類を一段落させて.兵庫陸水生物,46.p1-24.
42	Hayashi,F.& S.Suda 1995.Sialidae (Megaloptera) of Japan.Aquatic Insects,17(1).p1-15.
43	市田忠夫 1986.津軽半島北部のウスバカマキリ・カヤコオロギ・その他若干の直翅類の記録.Celastrina,17.p25-26.
44	市田忠夫 1988.青森県のカメムシ(I).Celastrina,20.p113-145.
45	市田忠夫 1989.青森県のカメムシ(II).Celastrina,22.p29-38.
46	市田忠夫 1990.秋田県田沢湖のエサキカタピロアメンボ.Rostria,40.p663.
47	市田忠夫 1991.青森県のカメムシ(III).Celastrina,26.p44-54.
48	市田忠夫 1993.木造町でショウリョウバッタモドキ採集,Celastrina,28.p72.
49	市田忠夫 1996.青森県のウンカ下目.Celastrina,31.p41-76.
50	市田忠夫 1997.ハネナガウンカ科3種の幼虫.Rostria,46.p47-51.
51	市田忠夫 1998.本州から初めて記録されるタイワンナガマキバサシガメ.Rostria,47.p29-30.
52	市田忠夫 1998.北上川下流域の興味深いカメムシ類.インセクトマップオブ宮城,9.p25-27.
53	市田忠夫 2000.その後のウスバカマキリ.Celastrina,35.p139.
54	市田忠夫・市川顕彦 2001.青森県平滝沼でトゲヒシバッタを採集.月刊むし,364.p49.

55	石村清・佐藤哲男 1941.節足動物 昆虫編、青森県博物総目録2.青森県博物研究会会報,21.p27-108.
56	Kerzhner, I.M., 1979. New Heteroptera from the Far East of the USSR. Trudy zool. Inst., 81.p14-65. (in Russian)
57	Kerzhner, I.M., 1981. Nabidae, Fauna SSSR. (in Russian)
58	津軽昆虫同好会編 2001. 山谷文吾氏寄贈昆虫標本目録. 黒石市教育委員会. 130pp.
59	工藤周二 2004. 昆虫全般. 「国際芸術センタ - 青森の森」環境調査報告書.p77-79.
60	松浦一郎 1981. 珍説進化論(3) 翔んだ翔んだタマゴが翔んだエゾエンマ. <i>Teleogryllus yezoemma</i> 分布の謎. ぱったりぎす, 35.p820-824.
61	Shiraki, Tokuichi 1911. Phasmiden und Mantiden japans. Annot. zool. Jap., 7:p291-331, pl. 12.
62	富岡康浩 1989. 三八地方のカメムシ. <i>Ladybird</i> , 3.p9-45.
63	土屋正雄 1931. 青森県の直翅目.
64	碓井 徹 1998. <i>Gerris (Gerris) lacustris</i> キタヒメアメンボ(新称)の本州北部からの発見. <i>Rostria</i> , 47.p43-44.
65	碓井 徹・疋田直之 2001. キタヒメアメンボの本州における新産地. <i>Rostria</i> , 50.p37-39.
66	Usui, T., S.Miyamoto&M. Hayashi. 1997. Occurrence of <i>Gerris (Gerris) lacustris</i> (Heteroptera, Gerridae) in Hokkaido, Japan. <i>Jpn. J. Ent.</i> , 65.p217-218.
67	安永智秀・高井幹夫・川澤哲夫・中谷至伸 2001. 日本原色カメムシ図鑑第2巻.
68	佐藤隆志 2003. クロスジカメノコハムシの飼育記録～幼虫・蛹の形態及び生態的知見. 羽化成虫の色彩変化等～. <i>Celastrina</i> , 38.p41-44.
69	福田 彰・奈良典明 1952. 青森県産はんみょう科について - 青森県の昆虫( ) -. <i>進化</i> , 4(2): p11-15.
70	樋口 誠 1993. マルコガタノゲンゴロウ青森県の記録. 月刊むし, 270.p37.
71	市田忠夫 1992. 青森県の脈翅類. <i>Celastrina</i> , 27.p78-124.
72	吉岡邦二ほか 1965. 下北地方の生物相. 下北半島学術調査報告書, 日本自然保護協会.p31-71.
73	櫛田俊明 1991. 青森県のハンミョウ類( ). <i>Celastrina</i> , 26.p55-70.
74	北畠 宏. 1955. 湯ノ股. 恐山を歩いて. <i>進化</i> , 7(3/4). p25-27.
75	成田俊明 1988. 青森県のハンミョウ類. <i>Celastrina</i> , 20.p61-112.
76	成田俊明 1989. 青森県のハンミョウ類( ). <i>Celastrina</i> , 23.p31-44.
77	横山裕正 2002. 岩木町弥生でのホソハンミョウ・マガタマハンミョウの採集記録. <i>Celastrina</i> , 37.p102.
78	櫛田俊明 1995. 東北地方のゲンゴロウモドキ類. <i>Celastrina</i> , 30.p75-87.
79	角田和弘 1997. 青森市郊外におけるエゾゲンゴロウモドキの記録. <i>Celastrina</i> , 32.p50.
80	阿部 東ほか 2002. ゲンゴロウ科(Dytiscidae)3種の染色体. <i>Jpn. J. Ent. (N.S.)</i> , 5(4). p145-154.
81	荒木 哲 2004. 下北半島ムシある記(案内記). うすばき, 97.p39-44.
82	中根猛彦 1993. 日本の雑甲虫覚え書10. 北九州の昆虫, 40(1). p1-8, pl. 1.
83	池田都志也・高橋誠 2003. 青森県におけるサロベツナガケシゲンゴロウの記録. 月刊むし, 394.p2.

84	佐藤隆志 1990.津軽地方におけるゲンゴロウの一記録.Celastrina,25.p38.
85	Nilsson,A.N.&Nakane,T.1993 A revision of the <i>Hydroporus</i> species (Coleoptera:Dytiscidae) of Japan, the Kuril Islands and Sachalin. <i>Ent.scand.</i> ,23.p419-428.
86	佐藤隆志 2002.青森県におけるシマゲンゴロウの記録について.Celastrina,37.p69.
87	田沢治美 2000.シマゲンゴロウの記録.黒蜩,2.p2.
88	堀 繁久 2000.日本初記録のアナバネコツブゲンゴロウ(新称).知床博物館研究報告,21.p33-38.
89	神奈川県立博物館編 1995.阿部光典ゲンゴロウ類コレクション標本目録,8.p5-66. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
90	林 成多・八木 剛 2000.日本におけるエゾコガムシの分布.甲虫ニュース,132.p7-8.
91	吉富博之ほか 2001.レッドデータ水生昆虫類の分布記録1.エゾコガムシの分布記録のまとめ. 甲虫ニュース,135.p7-9.
92	佐藤隆志・尾崎俊寛 2000.青森県におけるクマガイクロアオゴミムシの採集例.Celastrina,35. p23-24.
93	工藤 忠ほか 1999.青森市田代湿原昆虫調査(1997~98年)調査結果.Celastrina,34.p45-72.
94	富岡康浩 2000.青森県のハムシ類.Celastrina,35.p25-60.
95	岩井大輔・八木 剛 2003.日本におけるオオルリハムシの地理的分布. <i>Jpn.J.Ent.(N.S.)</i> ,6(2). p105-110.

○昆虫類以外の無脊椎動物

	文 献 名
	大高明史 2004.ザリガニの体表で暮らすヒルミミズ その分布と生態.うみうし通信,No.42: p2-4.
	Gelder,S.R.and A.Ohtaka.2000.Description of a new species and a redescription of <i>Cirrodrilus aomorensis</i> (Yamaguchi,1934) with a detailed distribution of the branchiobdellidans (Annelida:Clitellata)in northern Honshu,Japan.Proceedings of the Biological Society of Washington,113:p633-645.
	Suzuki, S.and N.Tsurusaki.1983.Opilionid fauna of Hokkaido and its adjacent areas. Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University, Series VI, Zoology 23 : p195-243
	Tsurusaki,N.1990.Taxonomic revision of the <i>Leiobunum curvipalpe</i> group (Arachnida, Opiliones, Phalangidae), III. <i>Leiobunum curvipalpe</i> subgroup. Jpn. J. Ent. 58 : p761-780.
	Yamaguchi, H.1934.Studies on Japanese Branchiobdellidae with some revisions on the classification.Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University, Series VI, Zoology 3:p177-219.
	Wada,K.1991.Biogeographic patterns in waving display,and body size and proportions of <i>Marophthalmus japonicus</i> species complex (Crustacea: Brachyyura: Ocypodidae). Zoological Science 8:p135-146.

	World Wide Fund for Nature Japan 1996.WWF Japan Science Report.Vol.3. 特集：日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状,p70,p86-87.
	World Wide Fund for Nature Japan 1996. WWF Japan Science Report. Vol.3.特集：日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状,p79,p86.
	工藤周二 2005.ミズグモの記録.Celastrina No.40:p32.
	大高明史・向山 満 1998.本州北部におけるヒルミミズ類の分布について(予報). 青森自然誌研究,3:p33-36.